



2015～16年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラン

Weekly Report Niigata



2015～16年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次



世界へのプレゼントになろう

2015～16年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC12月第 3例会 (2015.12.15) No.3114

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

落谷虹児

明治三十三年（1998）～昭和五十四年（1979）

阿賀野市水原（旧北蒲原郡水原町）で生まれる。父・傳松と母・エツの長男・一男として誕生。生後すぐに新発田市の母の生家に預けられ祖父母に育てられる。

傳松は明治三十五年、新潟県中央新聞（新潟日報社の前身）の記者になる。父の仕事関係で柏崎に引っ越すが、すぐ新潟に戻り再び記者となる。虹児は、新潟市の西堀小学校に入学するが、数回転校する。明治四十一年新潟大火で焼け出され、新発田本村尋常小学校に転校する。文才と画才に優れていた父の影響を受け、文学や絵を好むようになり、竹久夢二の絵を透写するなどしていた。

明治四十四年、十三歳の時新津尋常高等小学校に入学するが、母の死去で一家は離散、親戚の株式仲買店に丁稚奉公にできるものの翌年倒産、その後は、洋服屋、印刷会社で働く。印刷会社の社長で後の新潟市長桜井市作の薦めで南画を習い始める。桜井の紹介もあって新潟出身の日本画家・尾竹竹坡の内弟子となり上京する。

上京後も絵の勉強を続けるが、師の尾竹が総選挙に立候補するものの落選したため再び新潟に戻り、再婚していた父の借金返済のため映画館の看板画きとなる。しかし、文展入選を目指し再び上京、十八歳で画家の挑戦を続けた。翌年帰郷中の婦人との恋愛関係が発覚したため函館から樺太に渡り、二年半旅絵師として漂浪する。

その後、大正九年、二十二歳の時に東京芝金杉橋の日米図案社に住み込みで生活するようになり、ポスターなどを描くようになった。このころ友人から竹下夢二を紹介され、「少女画報」の口絵をはじめ虹児の名前で発表する機会を得る。

やがて、表紙も任されるようになった他、「婦人倶楽部」「婦人画報」や吉屋信子の連載小説「花物語」の挿絵を担当するなど次第に頭角を現すようになった。

月刊雑誌「令女界」は、大正十一年（1922）、宝文館から創刊された月刊少女雑誌で虹児は編集会議から参画し、口絵や挿絵、詩、小説まで担当するなど大活躍するようになった。

落谷の代表作である童謡の名作・

『花嫁人形』『金襴緞子の帯しめながら

花嫁御寮はなぜ泣くのだろ』

が発表されたのは、大正十三年（1924）であった。

この歌碑が、昭和四十一年、新潟市中央区西堀通のイタリア軒の正面に建立、今は真向いの割烹・螢の前に建っている。

今も受け継がれている虹児の歌は、野口雨情の作詞した「青い眼の人形」と共に出色の童謡として親しまれている。やがて、大正十四年、落谷虹児二十七歳、妻りんと共にあこがれの欧州・パリへの旅に出発する。パリでは、知人の戸田海笛、東郷青児、藤田嗣治と同じ郷里、新潟県柏崎市の石黒敬七とも交流、フランスで作品展を開催するなど人気作家となる。昭和四年帰国した虹児は、雑誌での連載で活躍する。

昭和十七年、千葉県松戸飛行場で航空兵をデッサンするなど戦時色の仕事とならざるを得ず、暗い生活を余儀なくされた。

昭和二十一年、四十八歳の時には戦後の混乱期で挿絵を描く気力もなくしたが、翌年には生活のため挿絵作家として復活し雑誌の仕事再開した。その後は、アニメーション映画「夢見童子」「安寿と厨子王丸」「わんぱく王子の大蛇退治」など幅広い活動をした。

昭和三十八年からは、新潟日報に「自伝・ふるさと人生」「海鳴り」「花嫁人形」の連載を始めた他、新潟、東京で「落谷虹児展」が次々と開催されることになった。

昭和四十五年には、同じ新潟県出身の詩人・堀口大樹と共著による詩画集「虹の花粉」を出版する、この時、虹児は七十五歳、押しも押されぬ作家として活躍した。

しかし、昭和五十四年（1979）五月六日、入院中の病院で亡くなる。八十歳であった。昭和六十二年七月一日、新発田市に「落谷虹児記念館」が開館し、多くの作品が収蔵されている。

虹児の作品は、どの作品もファッションセンスに優れ、女性が身に着けたいような衝動に駆られる内容で、顔はどことなく育った新潟美人を想像させる顔立ちが特徴である。

日本情緒に欧州での体験も得て、モダンを加味備えた現代の浮世絵美人画ともいえる独特の作品を数多く手がけた。そこには、若い時に憧れ、交友もあった竹久夢二の作品と共通する世界がある。

憧れのパリに一步をしるした日から丁度、九十年、今年（2015）五月、パリ、エフェル塔近くの日本文化会館で「叙情画家・露谷虹児展」が開催、三男の龍生の手で「花嫁人形」が披露される。

(3) ビジターの紹介

・風間 士郎君(新潟南 RC)

(4) 委員会報告

・高橋清文 RA 委員長

第46回ローターアクト地区大会が平成28年2月13日(土) ホテルラングウッドで開催されます。今年度は新潟南クラブ所属の伊比代表の元、大会テーマ 喜努愛楽～ACTION with ROTARY～を掲げ活動しております。参加者の皆様には、学ぶことの「喜」びを、2560地区ローターアクトの「努」力の成果を、新潟の「愛」を、そして極上の「楽」しみを感じていただけるよう日々邁進しております。そのような彼らに対してどうぞ大きな声援をよろしく願いいたします。登録締切は平成28年1月8日(金)となっておりますので多くの方の登録をお願いするしだいです。

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(織戸 潔委員長)

登坂 直美君

米山奨学会寄付発表(小林 敬直委員長)

徳山 啓聖君 伴 昭彦君

青少年育成基金寄付発表(吉田和弘幹事)

高橋 義明君 浅田 龍一君

伴 昭彦君

(6) ニコニコボックス紹介

・務台 昭彦君 結婚記念日の御花をありがとうございます。30周年となりました。妻も大変喜んでおります。

・竹石 松次君 新潟南ロータリークラブで先輩でもある風間士郎さんを歓迎して。

(7) 徳永昭輝さんへ米山功労者 第22回メジャードナー感謝状贈呈

(8) 幹事報告(吉田 和弘幹事)

・例会終了後国際奉仕委員会を2階「イタリア倶楽部」に於いて開催致します。

・例会終了後、情報委員会を例会場前のロビーに於いて開催致します。

(9) 卓話

「The Present & Prospects of Korean Industry」

韓国産業の現状と将来展望

講師 Seung Soon Im, Ph.D.

Chair Professor of Hanyang Univ. College of Eng, Korea

韓国・漢陽大学 碩座教授 任 承淳 氏

(漢陽大学 前副学長・工学部長)



(10) 12月15 日例会の出席率 72.92 %

会員数98名(出席免除会員 9名)

出席者 70名(出席免除会員7名を含む)

(2週間前メーク後 92.71 %)

12月29日は規定休会です。

次回例会は2016年1月5日(火)です。

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>